

こんにちは

酒井まさえ



2023年8月20日 No.151 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

対話と参加の区政運営へ

岸本区政1年 1周年の集会を開催

岸本区政における前向きの変化 一年間の実績

- ・ 情報公開の推進「原則公開の徹底」
- ・ 区長記者会見へのフリーランス参加拡充
- ・ ハラスメントゼロ宣言
- ・ 物価高騰に伴う給食費値上げ分を過去に遡り引き下げ
- ・ 物価高騰対策として公衆浴場等への燃料費補助
- ・ 物価高騰対策として福祉施設、保育所等への食料費、光熱水費の補助
- ・ 中小事業者に対する物価高騰に伴う電気ガス代の値上げ分の支援
- ・ 生理用品の学校配置
- ・ 50歳以上の带状疱疹ワクチン接種助成
- ・ 高齢者の補聴器購入費助成
- ・ ヤングケアラー支援、実態調査
- ・ 子どもの権利条例の制定に向けた審議会の設置
- ・ 家賃助成制度の実施に向け今年度検討、来年度実施
- ・ 住民参加型予算（森林環境税使用）
- ・ 気候区民会議
- ・ 就学援助の認定基準引き上げ
- ・ パートナシップ制度の実施
- ・ 子ども食堂への支援
- ・ 重度障害者の就労支援事業実施
- ・ 妊産婦検診の回数拡充(1回から4回へ)
- ・ 生活保護の扶養照会の任意実施（引き下げ）
- ・ 給食費無償化（第3回定例会で実施）

7月30日、岸本聡子区長の後援会「ソシアルサトコズ」が区長就任1周年集会を開きました。一年間の区政運営を通じた成果や課題を交流し、引き続き、住民との対話と参加の区政運営を進めていくことを共有しました。

他区に遅れていた施策等 一年間で次々と実施へ

岸本区政のもとで、自治体が最優先として取り組むべき「住民のくらし」「福祉」に関わる施策が前進しています。（左一覽）

これらの多くは、党区議団がこれまで政策として論戦で取り上げ、選挙公約にも掲げてきたことです。

岸本区政がスタートして1年間でこれらの施策が次々と実現していることは重要な前進です。



区長として報告する集会

学校給食費の無償化についても、9月から始まる第3回定例会にて提案されることが、記者会見でも示されました。

この前向きの変化をさらに前に進めるよう、論戦に取り組みます。

児童館・ゆうゆう館の廃止方針 都市計画道路の見直しが課題

一方、区立施設再編整備計画や都市計画道路整備の方針の見直しでの課題もあります。

一定程度、計画が進められている児童館やゆうゆう館の廃止方針が継続される問題や事業認可されている都市計画道路整備が停止されないなど、これまでの区政運営の転換の上での課題もあります。

住民が主体的に区政に関わり、行政と共に、住民本位のまちづくりに転換することが必要です。

1周年集会では、今後区政に対して住民が積極的に関わることを確認されました。

2023年 国民平和大行進

7月26日(水)、太陽が照り付ける中、区役所前から中野の杉山公園まで、原水爆の禁止と、平和を求めみなさんと一緒に行進をおこないました！同じ時間、セシオン杉並の落成式に出席中の区長から、「抑止力としての核を持つという発想がいかに危険か、日本が核兵器禁止条約に署名していないのは恥ずべきことだ」という力強いメッセージが届きました。



た。広島・長崎への原爆投下から今年で78年目を迎えますが、未だ世界から核兵器はなくなっておりません。原水禁署名運動発祥の地である杉並区から、核無き世界の実現に向けて、全国・世界のみなさんと手を取り合って平和を訴えていきましょう！

(私は、この日、セシオンの落成式に参列しました。)

8月1日セシオンがリニューアルオープン

酒井まさえ地域後援会 みんなのつどいを行います



8月27日(日) 北部
午前10時～11時45分
松/木2丁目第3アパート
集会室(松/木ふれあいの家
横)

松/木2-14-3

8月27日(日) 南部
午後1時～2時45分
永福和泉地域区民セン
ター 第3集会室

(第2→第3です)

和泉3-8-18



正面玄関



ラウンジ

健康の話 脱水症について

夏の暑い日が続いています。体調はいかがでしょうか。

人は、気温・湿度上昇により体温を調節しようと、汗をかきます。たくさん汗をかくと、脱水症状が起ることもあります。湿度が高いと汗が蒸発しにくく、体温を十分に下げられず熱中症になることもあります。熱中症は、命を奪う恐ろしい病気で、予防することがとても大事です。

熱中症の背景には脱水症があり、脱水症予防は熱中症を予防するうえでも大切です。

脱水症を起こすと、血液は濃くなり、血栓(血液のかたまり)ができやすくなります。血栓が脳や心臓の血管に詰まると、脳梗塞や心筋梗塞を発生します。

また、脱水症により体内の電解質のバランスが崩れると、神経細胞に異常をきたし、幻覚や幻想の症状があらわれることもあります。

脱水症の予防は、のどが渇いていなくても、時間を決めて水分補給をすることです。特に高齢者や、身体の水分量が多い小児は、常に水分補給を意識することが大事です。

嚥下が難しい高齢者には、ゼリータイプの飲料、トロミのある飲料をお勧めします。

この季節は日常的に、水分補給、エアコン使用、休憩をとるなど熱中症予防が大切です。

お困りのことがありましたら
酒井にご連絡ください。

